

## 患者さんへ

### 「限局前立腺癌に対するロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術前後の 血中テストステロン値の観察」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2023年1月より2024年11月までに当院泌尿器科で前立腺癌に対し、ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘手術を受けられた方
2 研究目的・方法	<p>研究の目的: ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術(robot-assisted radical prostatectomy: RARP)は限局性前立腺癌に対する低侵襲外科手術として広く普及しています。また、外科手術のメリットとして男性ホルモンが低下されないことが期待されます。本研究では、RARPは本当に男性ホルモンを低下させないのか、RARP前後の血中テストステロン値の推移を診療録の情報から確認します。</p> <p>研究の方法: 当院でロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘手術を受けられた前立腺癌の患者さんのすでに得られている術前・術後1か月、3か月、6か月、12か月で測定された血中テストステロン値等を確認します。</p> <p>研究の期間: 施設院長許可(2026年1月予定)後~2028年12月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	年齢、BMI(体格指数)、術前PSA(前立腺特異抗原)、血中テストステロン値、遊離テストステロン値等
5 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p><b>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先</b></p> <p>氏名(研究責任者): 向山 秀樹 病院名・所属・職位: 南部徳洲会病院・泌尿器科、主任部長 住所: 沖縄県島尻郡八重瀬町字外間 171 番地 1 連絡先: 098-998-3221(代表)</p>